

コメント

1. RSウイルス感染症

55人(定点当り2.39人)とほぼ横ばいとなっています。年齢別では、0歳児21人、1歳児19人、2歳児9人となっており、2歳以下が89%を占めています。

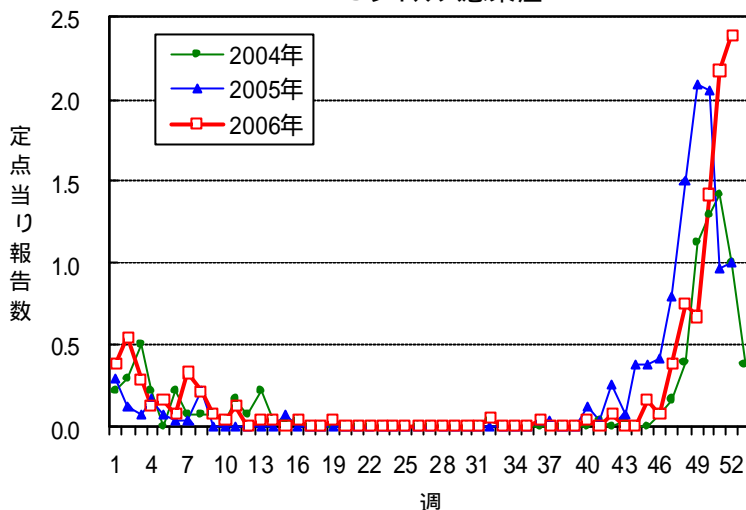
2. 感染性胃腸炎

定点当り10.4人と減少しています。安芸区では27.0人と特に多く、東区15.0人、佐伯区13.0人、中区10.0人となっています。

3. インフルエンザ

29人(定点当り0.81人)と急増しています。まだ流行開始の目安とされている定点当り1.00人に達していませんが、休み明けの動向に注意が必要です。

RSウイルス感染症



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	29	0.81	5.54	↑	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	9	0.39	0.12		流行性耳下腺炎	3	0.13	1.13	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.57	1.06	→	RSウイルス感染症	55	2.39		→
感染性胃腸炎	238	10.35	16.02	↘	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	55	2.39	3.70	→	流行性角結膜炎	2	0.25	1.20	
手足口病	-	-	0.27		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	10	0.43	0.14		無菌性髄膜炎	-	-	0.17	
突発性発疹	16	0.70	0.77		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.26	
百日咳	-	-	0.12		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.09	0.05						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

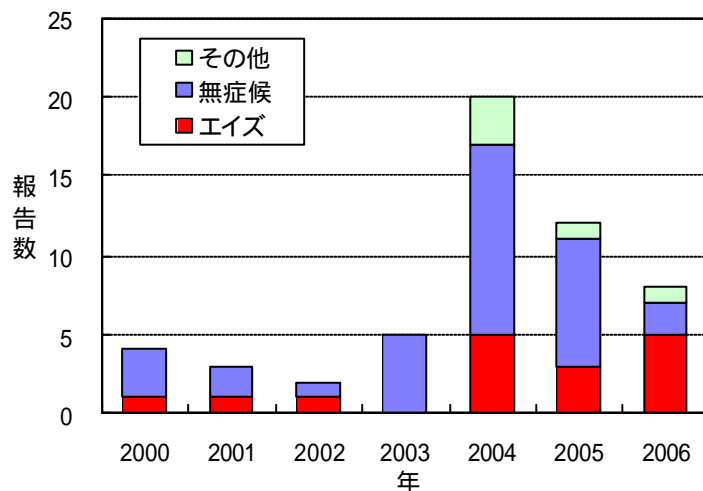
		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第48週	4	11	43	482	68	-	2	12	-	-	1	2	18	1	3	1	-	2	-
		第49週	19	8	44	470	37	1	1	13	-	-	-	3	16	-	6	1	-	10	-
		第50週	19	14	54	446	54	2	12	17	1	-	-	6	34	-	7	-	1	6	-
		第51週	14	14	41	397	54	2	9	6	-	-	-	7	52	-	5	-	3	-	-
		第52週	29	9	36	238	55	-	10	16	-	1	2	3	55	1	2	-	4	-	-
定点当り	広島市	第48週	0.11	0.46	1.79	20.08	2.83	-	0.08	0.50	-	-	0.04	0.08	0.75	0.13	0.38	0.14	-	0.29	-
		第49週	0.51	0.33	1.83	19.58	1.54	0.04	0.04	0.54	-	-	-	0.13	0.67	-	0.75	0.14	-	1.43	-
		第50週	0.51	0.58	2.25	18.58	2.25	0.08	0.50	0.71	0.04	-	-	0.25	1.42	-	0.88	-	0.14	0.86	-
		第51週	0.38	0.58	1.71	16.54	2.25	0.08	0.38	0.25	-	-	-	0.29	2.17	-	0.63	-	-	0.43	-
		第52週	0.81	0.39	1.57	10.35	2.39	-	0.43	0.70	-	0.04	0.09	0.13	2.39	0.13	0.25	-	-	0.57	-
全国		第50週	0.21	0.56	2.45	22.81	2.43	0.46	0.40	0.60	0.01	-	0.03	-	0.90	0.03	0.68	0.01	0.03	0.64	0.01
		第51週	0.26	0.58	2.20	16.41	2.19	0.46	0.42	0.54	0.01	-	0.04	-	0.86	0.03	0.69	0.02	0.04	0.66	0.01

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	48	男	2006/11/18	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	0	男	2006/11/21	糞便	ノロウイルスG2群

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の発生動向 (年間報告数の推移)



広島市では、2000年～2006年の7年間に54件報告されており、このうちエイズ患者は16件(30%)、無症候性キャリアは33件(61%)となっています。

年間報告数は2003年まで2～5件で推移していましたが、2004年は20件と急増し、2005年も多く12件報告されました。

2006年は8件報告され、過去2年と比べると減少していますが、エイズを発症した患者の報告は5件となっており、2004年の5件と同数、2005年の3件より多くなっています。

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	合計
エイズ	1	1	1	0	5	3	5	16
無症候	3	2	1	5	12	8	2	33
その他	0	0	0	0	3	1	1	5
合計	4	3	2	5	20	12	8	54

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第52週(12月25日～12月31日)